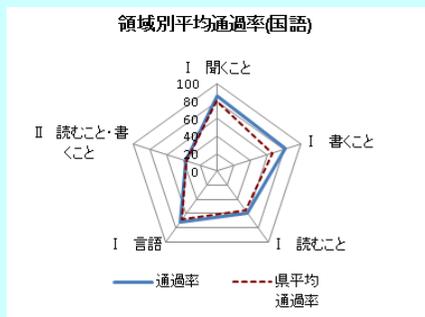
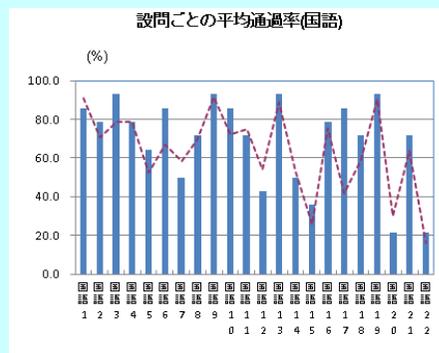


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校69.2%, 県63.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
  - ・国語科の結果において、タイプⅠは74.1%、タイプⅡは38.1%の通過率となっている。基礎的な内容については概ね定着が図られていると考えられるが、目的や必要に応じて情報を取り出し、それらと関係付けて書くことに課題があることが分かる。
- 昨年度の課題への取り組みの成果
  - ・書くことの単元において、「主語や接続語に着目して二文を一文にして作文し、その文を比べ読みさせる学習活動」を行った結果、昨年度は31.3%だった「文と文の意味のつながりを考えながら書く」問題の通過率が、今年度は85.7%に向上した。

## 重点課題

### 【課題1】

三 7 「読むこと」の中心となる語や文を捉えて文章を正しく読む。  
 ・「パラリンピック」について書かれた文章をまとめるため、中心となる語や文を捉えて空欄を2か所埋める問題において、1か所しか埋められなかった児童が50.0%いる。(通過率35.7%)

### 【課題2】

五 1 「書くこと・読むこと」の目的や必要に応じて情報を取り出し、それらと関係付けて書く。  
 ・問題の条件を満たしていない児童が64.3%、無解答の児童が14.3%いる。(通過率21.4%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

### 【課題1】

- ・文章から中心となる言葉やキーワードを探す場面を取り入れ、その言葉やキーワードを使って文章をまとめさせるようにする。
- ・普段から、言葉や字数を限定して書かせたり、短い文章でまとめを書かせたりしていくようにする。

### 【課題2】

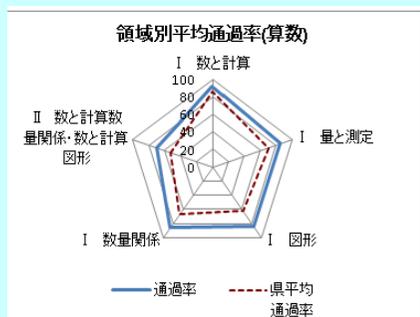
- ・目的に応じて必要な情報をとらえながら文章を読み、関連付けながら記述させる学習を仕組む。
- ・複数の資料から条件と合う情報を取り出して考えられるよう、どの資料から何について読み取ることができるのか自分の考えを明確にし、具体的に理由をあげて説明する言語活動を仕組む。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4年生 基礎・基本タイプ1	4・5年生 小テスト「説明文教材」	4・5年生 学期末テスト		4年生 H27基礎・基本	5年生 全国学力学習状況調査
目標値		70.0%	80.0%	80.0%		70.0%	70.0%
実施後数値		85.1%	4年生93.0% 5年生99.0%	4年生85.3% 5年生86.3%		75.0%	75.0%

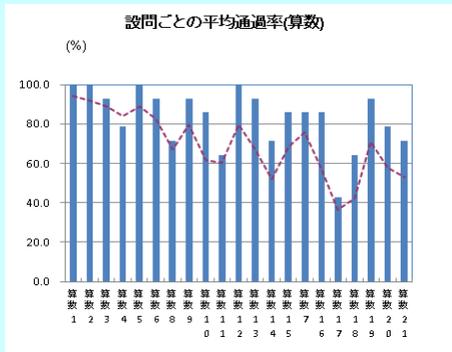
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4年生 基礎・基本タイプⅡ	4・5年生 小テスト「説明文教材」	4・5年生 学期末テスト		4年生 H27基礎・基本	5年生 全国学力学習状況調査
目標値		70.0%	80.0%	80.0%		70.0%	70.0%
実施後数値		85.1%	4年生80.0% 5年生100%	4年生85.3% 5年生86.3%		85.7%	75.0%

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校83.3%, 県69.4%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
  - ・算数科の結果において、タイプⅠは87.5%、タイプⅡは70%の通過率となっている。四則計算を含む基本的な内容については概ね定着できているが、問題文を正しく読み取りグラフや資料と関連付けながら過不足なく説明を書く問題については特に課題があると考えられる。
- 昨年度の課題への取組の成果
  - ・説明する活動を授業の中で重視し取り組んできた結果、記述式の問題では無回答の児童は1名のみであった。自分の言葉で考えを表現できる力がついてきている。

## 重点課題

- 【課題1】 4 「量と測定」
- ・必要な辺の長さがわからず複合図形の求積ができていない。(通過率64.3%)
- 【課題2】 10- (1) (2) 「数量関係」
- ・目的に応じた計算結果の見積もり。問題文を読み取る力や四捨五入は切り捨て等の算数用語を正しく理解できていないことが課題と考えられる。(通過率42.9%)
  - ・折れ線グラフと棒グラフ2つを関連付けて条件に合うように過不足なく説明することが難しい児童が多い。(通過率64.3%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

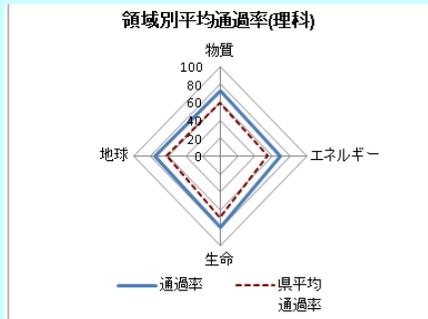
- 【課題1】
- ・問題に示されていない辺の長さを求めるためにはどうすればよいかを考えさせたり図を活用して必要な辺の長さを書き込ませたりする。授業では式と図を対応させて式の中のそれぞれの数値がどの辺の長さを表しているか説明させる場面を確保する。
- 【課題2】
- ・四捨五入 切り捨て 切り上げ等 算数用語の意味をしっかりと授業で押さえ、様々な場面で取り上げたり問題に当たらせたりすることを通して定着を図る。
  - ・グラフからそれぞれの特徴や傾向を読み取るために、他教科と関連づけて調べたことをグラフ等に表してみたりさせ、それらの数値から何がいえるか、数学的な表現を使って説明する活動を継続する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4年生 基礎・基本タイプ1	4・5年生 小テスト「複合図形」	4・5年生 学期末テスト		4年生 H27基礎・基本	5年生 全国学力学習状況調査
目標値		70.0%	80.0%	80.0%		70.0%	70.0%
実施後数値		79.6%	4年生72.0% 5年生88.0%	4年生82.6% 5年生76.0%		75.0%	81.0%

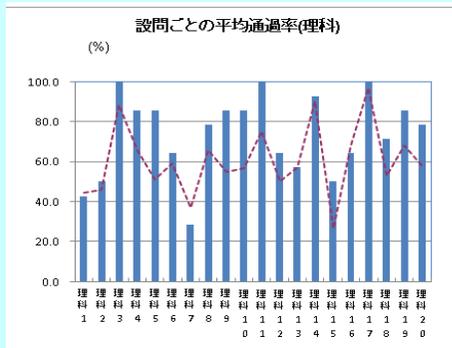
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4年生 基礎・基本タイプⅡ	4・5年生 小テスト 「見積もり・グラフ」	4・5年生 学期末テスト		4年生 H27基礎・基本	5年生 全国学力学習状況調査
目標値		70.0%	80.0%	80.0%		70.0%	70.0%
実施後数値		81.0%	4年生86.0% 5年生78.0%	4年生82.6% 5年生76.0%		89.0%	78.0%

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校73.6%, 県60.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
  - ・理科の結果においては、タイプⅠは82.4%、タイプⅡは57.1%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な学習内容は概ね定着していると考えられるが、エネルギー領域の「物質の磁石と電気に対する性質」において、通過率が28.6%と課題が見られた。
- 昨年度の課題への取組の成果
  - ・昨年度は、「エネルギー」の領域で課題が見られた。回路のつなぎ方について実験を通して乾電池のつなぎ方や回路を流れる電流の強さとを関係付けながら調べさせるなどした結果、回路については「直列つなぎの回路のつなぎ方」や「つなぎ方の違いによる電流の強さ」の問題の通過率はどちらも85.7%で、昨年度の通過率を66.9%上回った。

## 重点課題

### 【課題1】

- 3 (2) 物質の磁石と電気に対する性質
  - ・磁石につく物は理解しているが電気を通す物についての理解が不十分な児童が21.4%いる。(通過率28.6%)

### 【課題2】

- 1 (1) 物の重さのはかり方
  - ・物の重さを比べる場合には、体積を同じにして重さを比べなければならないことについて、理解が不十分である。(通過率42.9%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

### 【課題1】

- ・学習後、既習事項を活用した条件が複数の問題に取り組み、定着を図る。

### 【課題2】

- ・実験用具の目的や用途を明らかにして具体的な操作方法を示し全ての児童が操作方法を習得できるようにする。実験や観察の際には、キーワードや科学的な用語を使うなどの条件を付けて記述するように指導する。

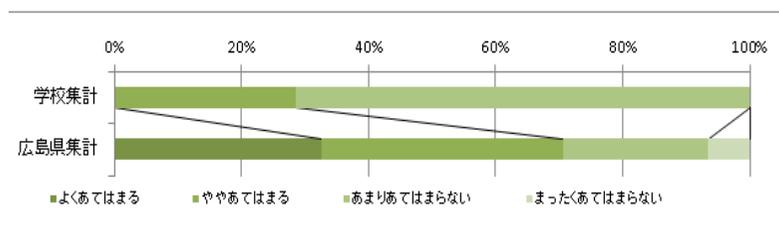
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4年生 H28基礎・基本	4・5年生 小テスト「磁石と電気」	4・5年生 学期末テスト		4年生 H27基礎・基本	5年生 全国学力学習状況調査
目標値		70.0%	80.0%	80.0%		70.0%	70.0%
実施後数値		64.0%	4年生80.0% 5年生84.6%	4年生93.3% 5年生85.3%		64.2%	86.0%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4年生 H28基礎・基本	4・5年生 小テスト「物の重さ」	4・5年生 学期末テスト		4年生 H27基礎・基本	5年生 全国学力学習状況調査
目標値		70.0%	80.0%	80.0%		70.0%	70.0%
実施後数値		81.0%	4年生92.0% 5年生98.0%	4年生93.3% 5年生85.3%		81.2%	90.0%

## 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

### （１）生活・学習

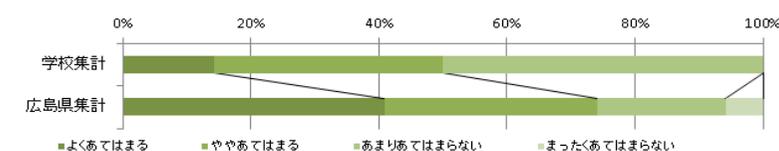
学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。



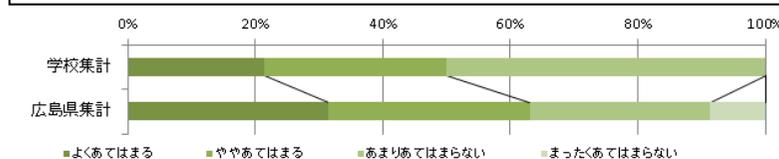
児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えていると肯定的に回答した児童の割合が県平均を大きく下回った。 県（70.6%） 本校（28.6%）	学習の振り返りをする事ができるよう、時間配分を考え授業を展開するとともに、振り返りの視点を提示し、自分の学習方法をメタ認知できるようにする。また、児童の振り返りにコメントを入れることにより評価を適切に行う。	4～6年	70%	児童アンケート	2月	75%	

### （２）教科

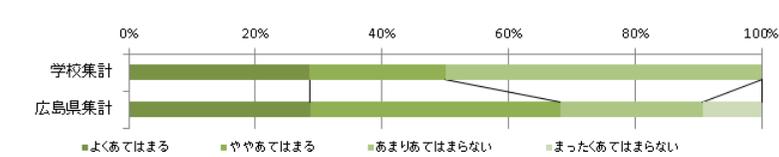
国語の勉強は好きです。



算数の授業では、とき方や考え方を絵や図などに表わして考えています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	国語の勉強は好きと肯定的に回答した児童の割合が県平均を大きく下回った。 県（68.3%） 本校（50%）	課題の設定を工夫したり、単元を貫く言語活動を設定したりすることによって、国語の学習に対する必然性をもたせ、単元終了後には児童が満足感や充実感が感じられるようにする。	4～6年	70%	児童アンケート	2月	87.5%	37.5%
算数	算数の授業では、とき方や絵や図などに表わして考えていると肯定的に回答した児童の割合が県平均を大きく下回った。 県（74.2%） 本校（50%）	図や絵と式、説明の言葉などを取り入れたノートの手本（モデル）を示す。また、よいノートを掲示したりコメントを入れたりするなど、評価を適切に行う。	4～6年	70%	児童アンケート	2月	100%	50%
理科	理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりすると肯定的に回答した児童の割合が県平均に比べ少ない。 県（63.1%） 本校（50%）	予想や仮説を立てる場面、結果をもとに考察する場面で、自分の考えをしっかりと記述させ、それをもとに発表したり説明したりする時間を毎時間意図的に設定する。	4～6年	70%	児童アンケート	2月	93.8%	43.8%